

アスファルト混合物報告書

2024年2月28日

様

製造会社

所在地 鳥取県米子市古豊千372

工場名 米子舗材株式会社

配合の設計条件				
混合物の種別	骨材の最大寸法	基準密度	混合温度	
密粒度ギャップアスコン(13)	13 mm	2.384 g/cm ³	157 °C	
空隙率	飽和度	安定度	フロー値	
3.6 %	77.1 %	9.46 kN	30 1/100cm	
D S 値				
-				
	回/mm			
使用材料及び配合表				
使用材料名	産地名	生産者名	配合率(%)	備考
ストレートアスファルト(60~80)	岡山県倉敷市水島	ENEOS(株)	5.3	
石粉	岡山県新見市足立	足立石灰工業(株)	6.6	
砕石 6号	岡山県久米郡久米南町	坂田砕石工業(株)	34.1	
砕石 6号	鳥取県日野郡日野町	(株)ケイナン	18.0	
砕石 7号	岡山県久米郡久米南町	坂田砕石工業(株)	6.6	
砕砂			9.0	
粗砂	島根県安来市広瀬町	(有)越野組	-	
細砂	鳥取県東伯郡北栄町	(有)きのえ	20.4	

アスファルト混合物配合設計報告書

混合物： 密粒度ギャップアスコン(13)

2024年 2月

米子舗材 株式会社

アスファルト混合物配合設計総括表

報告年月日 2024年 2月21日

混合物の種類 密粒度ギャップアスコン(13)

報告者 村島 誠治

1. 使用材料の種類及び産地

材料の種類	製造会社名	産地	材質
6号碎石	坂田碎石工業株式会社	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
6号碎石(ケイナン)	株式会社ケイナン	鳥取県日野郡日野町	硬質粘板岩
7号碎石	坂田碎石工業株式会社	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
砕砂	坂田碎石工業株式会社	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
細砂	有限会社きのえ	鳥取県東伯郡北栄町	丘砂
石粉	足立石灰工業株式会社	岡山県新見市足立	炭酸カルシウム
ストレートAs60-80	ENEOS株式会社	岡山県倉敷市水島	舗装用石油As

2. 使用骨材の配合割合

材料	6号碎石	6号碎石(ケイナン)	7号碎石	砕砂	細砂	石粉								計
配合割合%	36.0	19.0	7.0	9.5	21.5	7.0								100.0

3. 合成粒度

ふるい目	53mm	37.5	31.5	26.5	19	13.2	9.5	4.75	2.36	1.18	600μm	300	150	75
通過質量百分率%					100.0	99.3		46.8	37.5		28.2	17.5	10.2	7.2
粒度範囲	上限				100	100		55	45		40	30	15	10
	下限				100	95		35	30		20	15	5	4

4. 設計アスファルト量の決定

試験項目	最適AS量(%)	密度(g/cm³)	理論密度(g/cm³)	空隙率(%)	飽和度(%)	安定度(kN)	フロー(1/100cm)	残留安定度(%)
試験値	5.3	2.384	2.472	3.6	77.1	9.46	30	93.7
基準値	上限			7.0	85.0		40	
	下限			3.0	65.0	4.90以上	20	75.0以上

※ マーシャル試験の結果はグラフより求めた値である

骨材試験成績表

目的 配合設計

試験年月日 2024年 2月21日

混合物の種類 密粒度ギャップアスコン(13)

試験者 村島 誠治

ふるい分け試験

	ふるい目の開き	6号碎石	6号碎石 (ケイナン)	7号碎石	砕 砂	細 砂	石 粉			
通過質量百分率%	53 mm									
	37.5									
	31.5									
	26.5									
	19	100.0	100.0							
	13.2	98.5	98.8	100.0						
	9.5									
	4.75	3.4	4.3	97.8	100.0	100.0				
	2.36	0.2	0.4	7.7	89.5	99.2				
	1.18									
	600 μm			0.3	32.2	84.4				
	300				19.5	40.1	100.0			
	150				10.3	10.8	98.0			
	75				6.9	1.3	88.2			

性状試験

試験項目		6号碎石	6号碎石 (ケイナン)	7号碎石	砕 砂	細 砂	石 粉			
密 度	表 乾	2.690	2.658	2.674	2.650	2.497	—			
	か さ	2.676	2.632	2.652	2.611	2.451	—			
	見 掛	2.716	2.702	2.711	2.716	2.567	2.700			
吸水率 / 水分量 %		0.55	0.98	0.83	1.49	1.84	0.01			
すりへり減量 %		11.8	16.6	11.8	—	—	—			
安定性 %		2.8	3.8	1.4	2.6	1.9	—			
微粒分量試験 %		—	—	—	—	—	—			
軟石含有量 %		1.9	4.0	1.8	—	—	—			
扁平細長石片 %		3.8	2.8	—	—	—	—			
単位容積質量		1.555	1.448	1.558	1.769	1.516	—			
粘土塊量 %		0.03	0.05	0.04	—	—	—			
		—	—	—	—	—	—			
		—	—	—	—	—	—			
		—	—	—	—	—	—			

使用アスファルト性状表

目 的 配 合 設 計

試験年月日 2024年 2月21日

混合物の種類 密粒度ギャップアスコン(13)

試 験 者 村島 誠治

＜使用するアスファルトの性状＞

種類・品名	ストレートAs60-80	
項 目	試 験 値	規 格 値
針入度 (25℃) (1/10mm)	64	60~80
軟化点 (℃)	49.0	44.0~52.0
伸度 (15℃) (cm)	140+	100以上
トルエン可溶分 (%)	99.96	99.00以上
引火点 (℃)	374	260以上
薄膜加熱質量変化率 (%)	0.08	0.60以下
薄膜加熱針入度残留率 (%)	73.4	55.0以上
蒸発後の針入度比 (%)	102.0	110.0以下
密度 (15℃) (g/cm ³)	1.040	1.000以上
マーシャル最適混合温度範囲 (℃)	153~159	---
マーシャル最適締固め温度範囲 (℃)	142~146	---

アスファルト混合物の配合設計

目的 配合設計 (室内)

試験年月日 2024年 2月21日

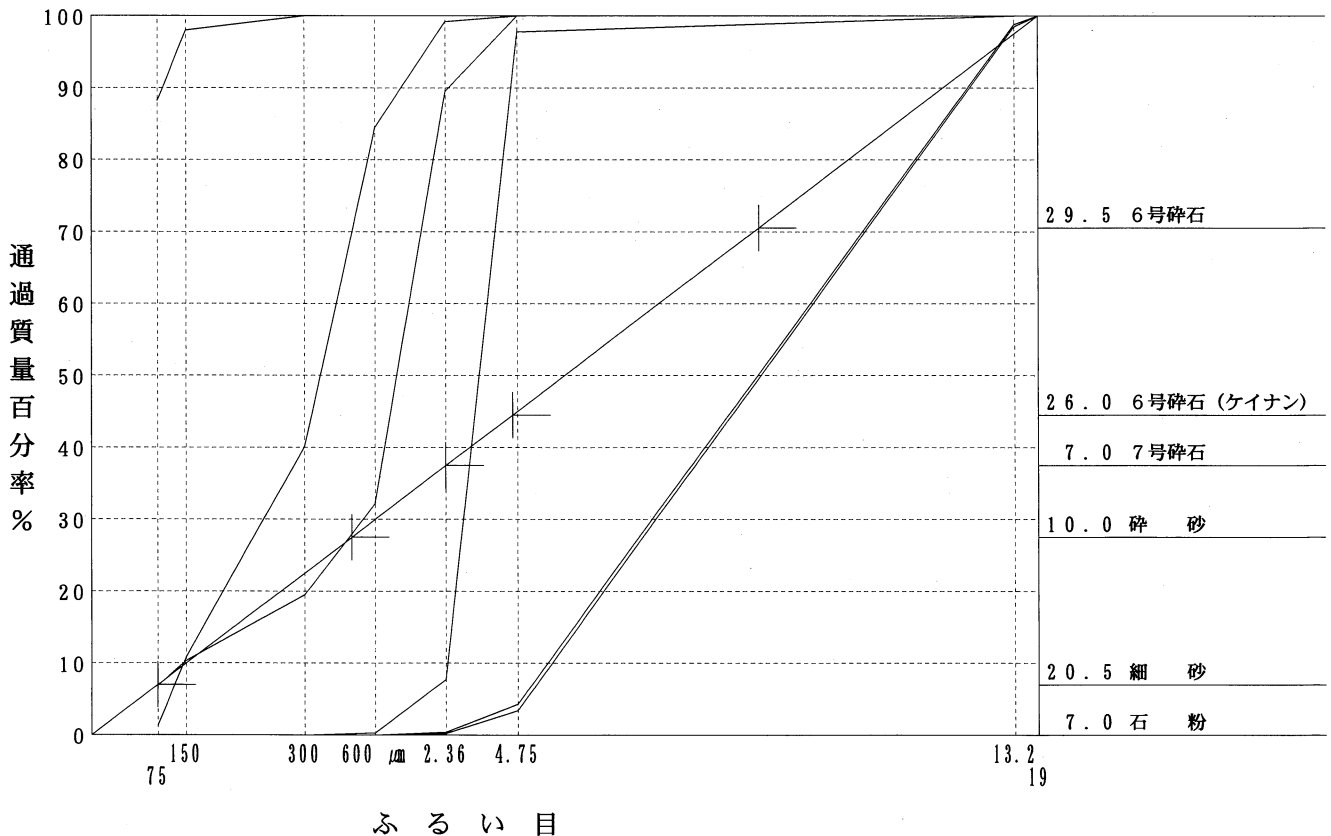
混合物の種類 密粒度ギャップアスコン(13)

試験者 村島 誠治

1. 使用予定骨材のふるい分け試験結果

フルイ目	使用予定骨材の通過質量百分率 (%)						目標粒度
	6号碎石	6号碎石 (ケイナン)	7号碎石	砕砂	細砂	石粉	
53 mm							
37.5							
31.5							
26.5							
19	100.0	100.0					100.0
13.2	98.5	98.8	100.0				97.5
9.5							
4.75	3.4	4.3	97.8	100.0	100.0		45.0
2.36	0.2	0.4	7.7	89.5	99.2		37.5
1.18							
600 μm			0.3	32.2	84.4		30.0
300				19.5	40.1	100.0	22.5
150				10.3	10.8	98.0	10.0
75				6.9	1.3	88.2	7.0

2. 使用予定骨材の配合比決定図



骨材の粒径加積曲線図

目的 配合設計 (室内)

試験年月日 2024年 2月21日

混合物の種類 密粒度ギャップアスコン(13)

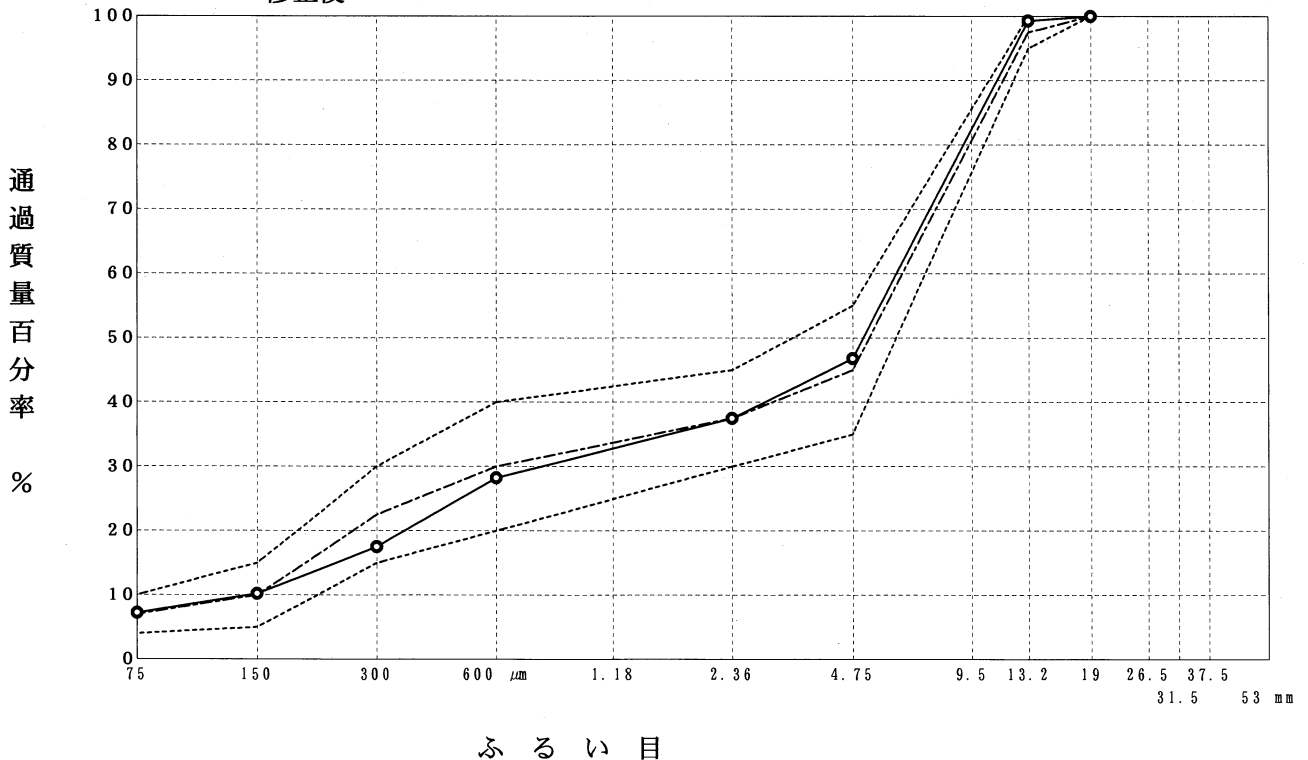
試験者 村島 誠治

5. 合成粒度

ふるい目	合成粒度		目標粒度	粒度範囲
	作図法	修正後		
53 mm				
37.5				
31.5				
26.5				
19	100.0	100.0	100.0	100
13.2	99.3	99.3	97.5	95 ~ 100
9.5				
4.75	46.4	46.8	45.0	35 ~ 55
2.36	37.0	37.5	37.5	30 ~ 45
1.18				
600 μm	27.5	28.2	30.0	20 ~ 40
300	17.2	17.5	22.5	15 ~ 30
150	10.1	10.2	10.0	5 ~ 15
75	7.2	7.2	7.0	4 ~ 10

6. 粒径加積曲線図

..... 粒度範囲
 - - - - 目標粒度
 ———— 修正後



理論最大密度計算表

目的 配合設計

試験年月日 2024年 2月21日

混合物の種類 密粒度ギャップアスコン(13)

試験者 村島 誠治

① 骨材の種類	② 配合率(%)	③ 骨材の密度 (g/cm ³)			④ 計算に用いる密度	⑤ ②/④
		表	乾	かさ 見掛		
6号碎石	36.0	2.690	2.676	2.716	2.716	13.255
6号碎石 (ケイナン)	19.0	2.658	2.632	2.702	2.702	7.032
7号碎石	7.0	2.674	2.652	2.711	2.711	2.582
砕砂	9.5	2.650	2.611	2.716	2.716	3.498
細砂	21.5	2.497	2.451	2.567	2.567	8.376
石粉	7.0			2.700	2.700	2.593
Σ②=	100.0				Σ⑤=	37.336

⑥ アスファルト量 (%)	⑦ アスファルトの密度	⑧ ⑥/⑦	⑨ $\frac{\Sigma⑤(100-⑥)}{100}$	⑩ ⑧+⑨	⑪ 理論最大密度 $100/⑩$	
4.0	1.040	3.846	35.843	39.689	2.520	
4.5		4.327	35.656	39.983	2.501	
5.0		4.808	35.469	40.277	2.483	
5.5		5.288	35.283	40.571	2.465	
6.0		5.769	35.096	40.865	2.447	
5.3		5.096	35.357	40.453	2.472	

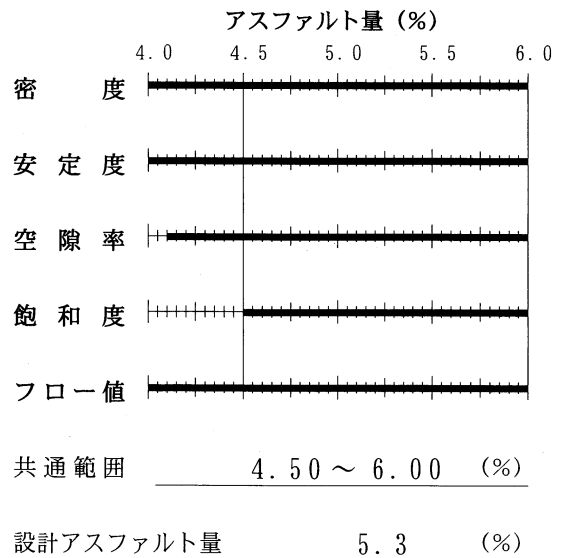
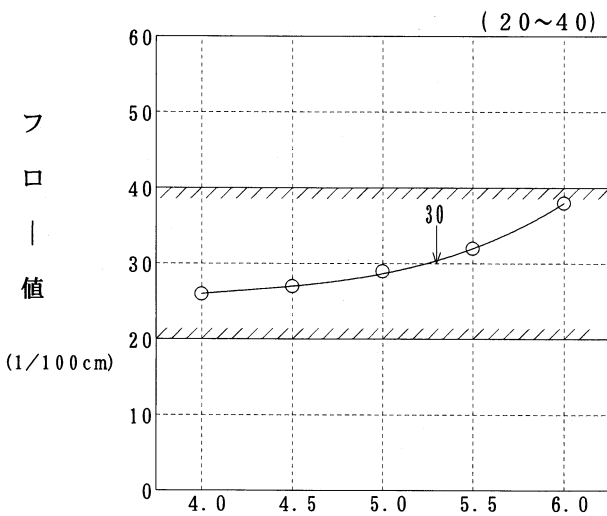
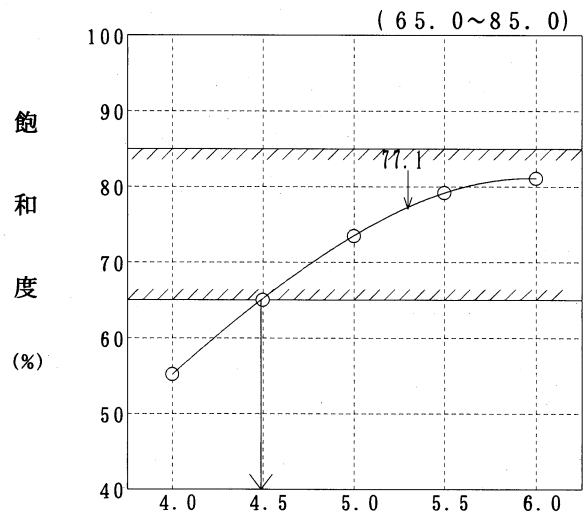
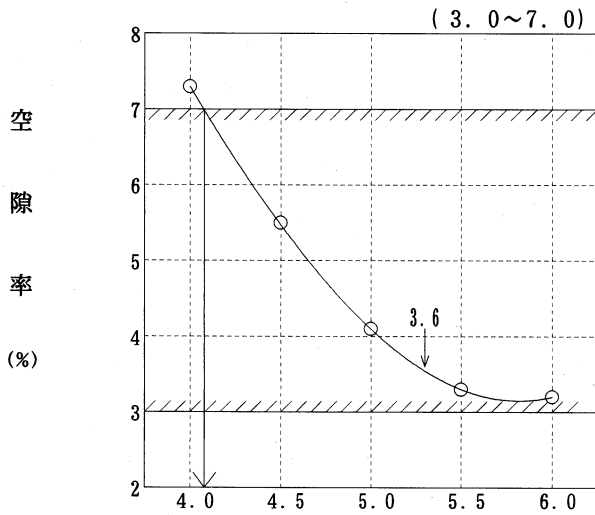
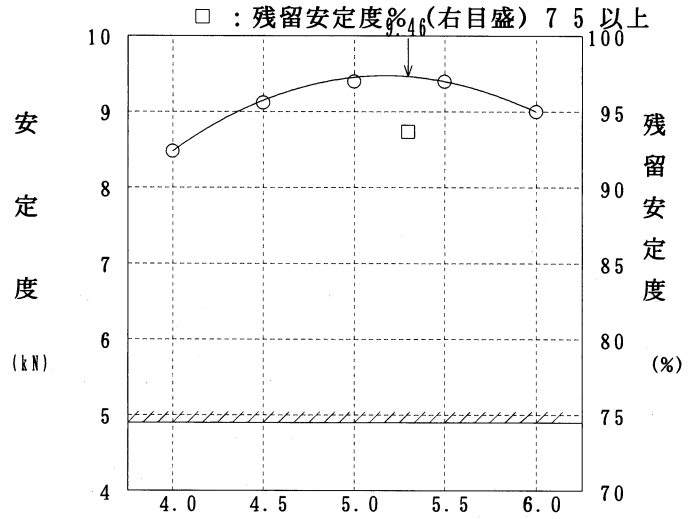
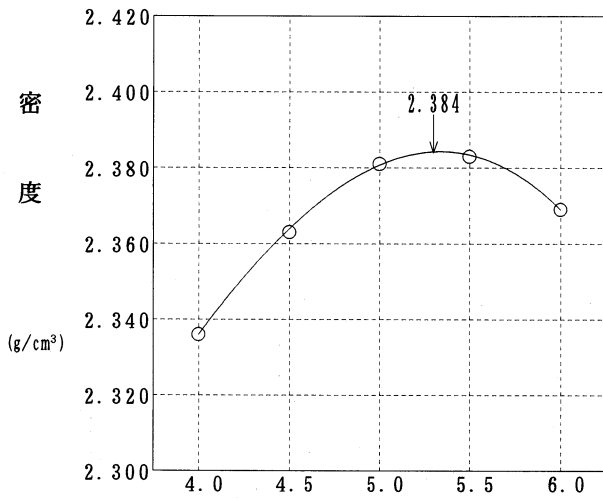
設計アスファルト量の決定

目的 配合設計 (室内)

試験年月日 2024年 2月21日

混合物の種類 密粒度ギャップアスコン(13)

試験者 村島 誠治



アスファルト量 (%)

ホットビンの合成粒度

目的 配合設計 (現場)

試験年月日 2024年 2月21日

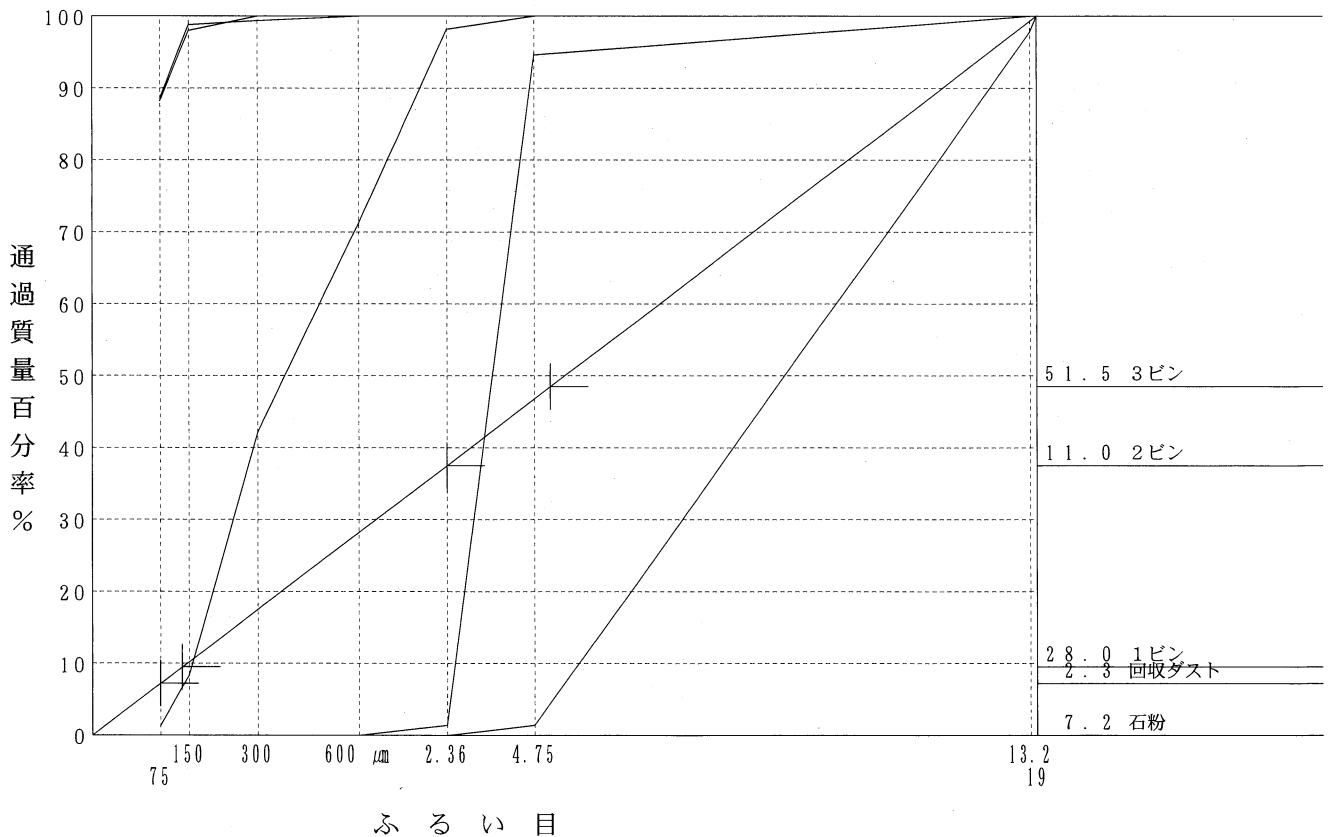
混合物の種類 密粒度ギャップアスコン(13)

試験者 村島 誠治

1. 使用予定骨材のふるい分け試験結果

フルイ目	使用予定骨材の通過質量百分率 (%)							設計粒度
	5ピン	4ピン	3ピン	2ピン	1ピン	回収ダスト	石粉	
53 mm								
37.5								
31.5								
26.5								
19			100.0					100.0
13.2			97.8	100.0				99.3
9.5								
4.75			1.4	94.6	100.0			46.8
2.36				1.4	98.2			37.5
1.18								
600 μm					71.2	100.0		28.2
300					42.1	99.4	100.0	17.5
150					8.3	98.8	98.0	10.2
75					1.3	88.6	88.2	7.2

2. 使用予定骨材の配合比決定図



ホットビンの粒径加積曲線図

目的 配合設計 (現場)

試験年月日 2024年 2月21日

混合物の種類 密粒度ギャップアスコン(13)

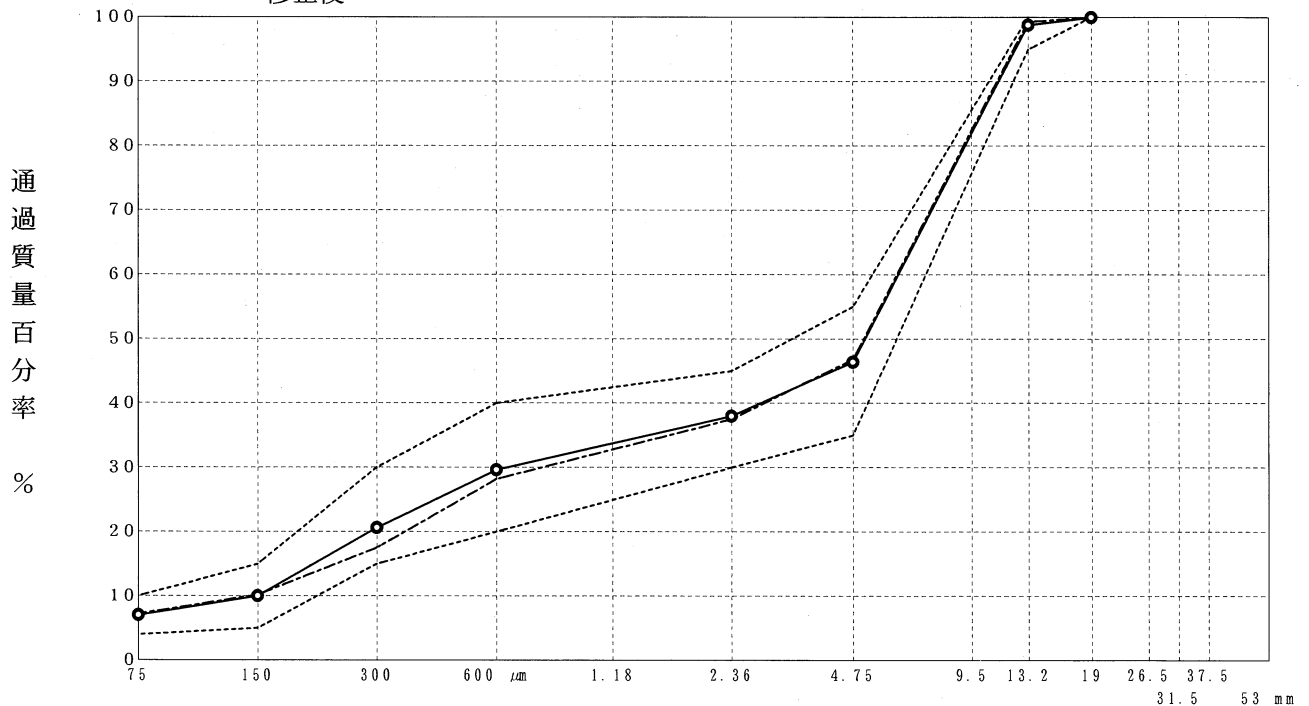
試験者 村島 誠治

5. 合成粒度

ふるい目	合成粒度		目標粒度	粒度範囲
	作図法	修正後		
53 mm				
37.5				
31.5				
26.5				
19	100.0	100.0	100.0	100
13.2	98.9	98.8	99.3	95 ~ 100
9.5				
4.75	48.6	46.4	46.8	35 ~ 55
2.36	37.2	38.0	37.5	30 ~ 45
1.18				
600 μm	29.4	29.6	28.2	20 ~ 40
300	21.3	20.6	17.5	15 ~ 30
150	11.7	10.0	10.2	5 ~ 15
75	8.8	7.0	7.2	4 ~ 10

6. 粒径加積曲線図

..... 粒度範囲
 - - - - 目標粒度
 ———— 修正後



ふるい目

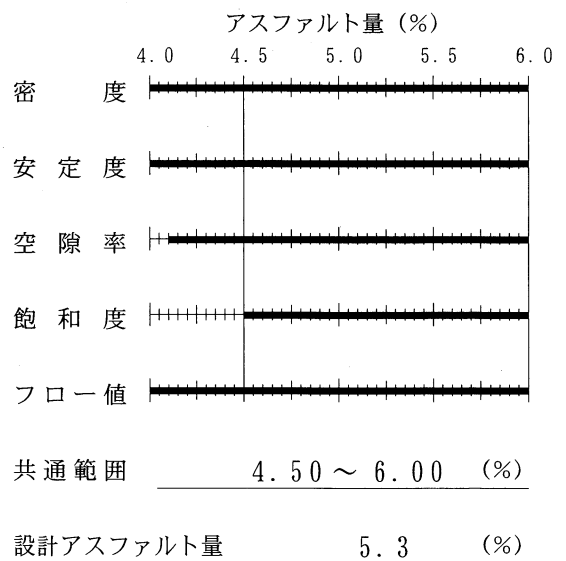
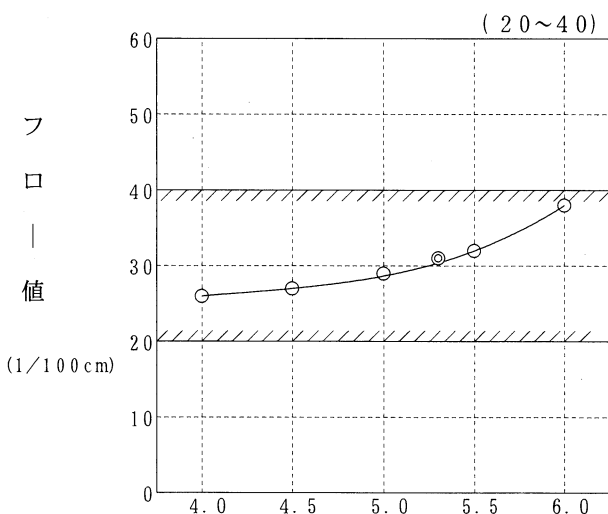
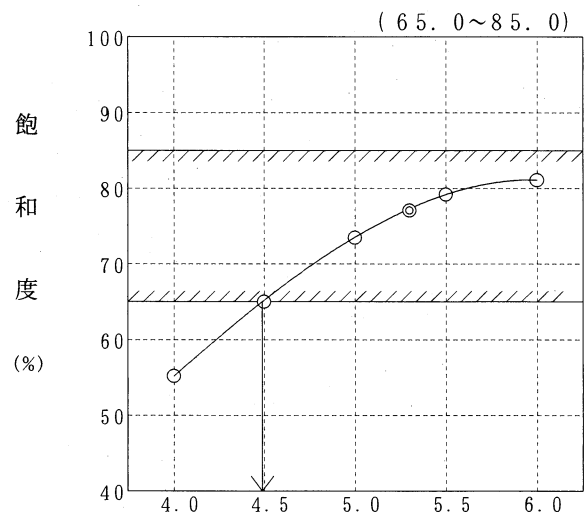
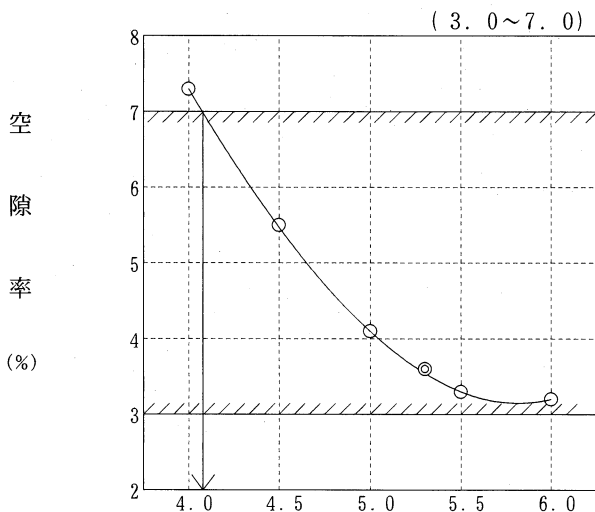
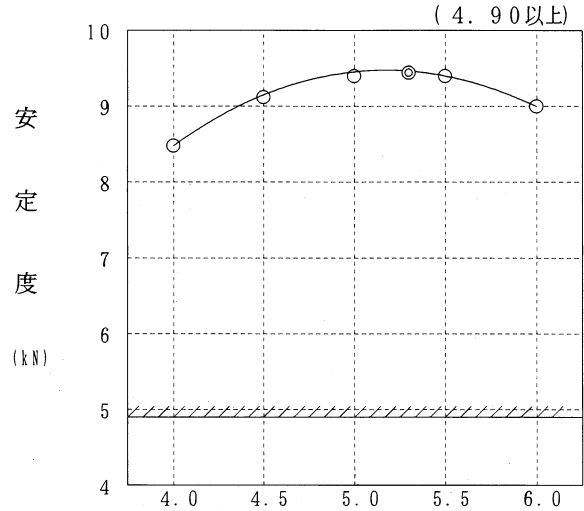
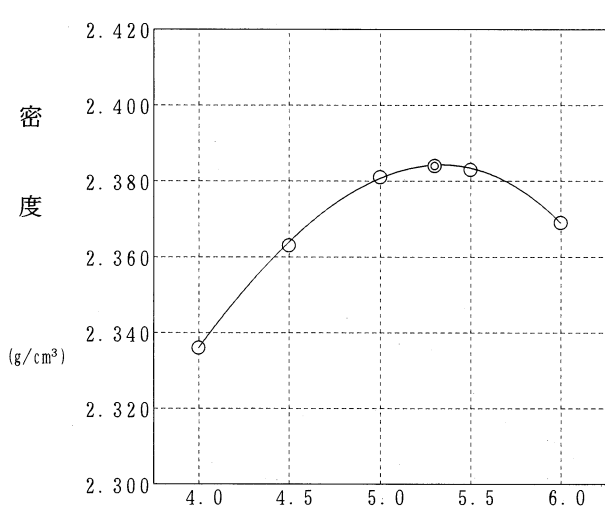
マ ー シ ャ ル 安 定 度 試 験

目 的 配 合 設 計 (現 場)

試 験 年 月 日 2024年 2月21日

混 合 物 の 種 類 密 粒 度 ギ ャ ッ プ ア ス コ ン (1 3)

試 験 者 村 島 誠 治



アスファルト量 (%)

現場配合の決定

目的 配合設計

試験年月日 2024年 2月21日

混合物の種類 密粒度ギャップアスコン(13)

試験者 村島 誠治

1バッチ 1000 kg

	骨材配合比(%)	設計アスファルト量(%)	プラント配合比(%)	1バッチ質量(kg)	骨材累加質量(kg)
3	ピ ン	54.0		511	876
2	ピ ン	7.5		71	365
1	ピ ン	31.0		294	294
回 収	ダ ス ト	1.0		9	885
石	粉	6.5		62.0	62.0
ア ス	フ ァ ル ト		5.3	53.0	53.0
合 計		100.0	100.0	1000.0	1000.0

- (1) 混合温度・・・・・・・・混合温度は185℃を超えない範囲でアスファルトの動粘度
160～200cSt（セイボルトフロール秒75-95）
のときの温度範囲から選び 157℃とする。
- (2) 骨材加熱温度・・・・・・・・混合温度より 20℃高くして 177℃とする。
- (3) アスファルト加熱温度・・・・・・・・混合温度と同じ 157℃とする。
- (4) 初期転圧温度・・・・・・・・動粘度270～330cSt（セイボルトフロール秒125-155）の
範囲より選び 145℃とする。